

室内部材 給排気グリル



取扱説明書（据付説明書付）

この製品は換気扇の給排気口として、住宅居住室内の天井・壁・床（ただし、踏みつけられない場所）に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。
- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

給排気グリル		給排気グリル（フィルター付）		
形 名	適用パイプ口径 (mm)	形 名	フィルター仕様	適用パイプ口径 (mm)
AT-100QK3	φ 100	AT-100QKN3	ネットフィルター	φ 100
AT-100QK3-BE		AT-100QKN3-BE		
AT-100QK3SN		AT-100QKN3SN		
AT-100QKK3		AT-100QKF3SN	不織布フィルター	
AT-150QK3	φ 150	AT-100QKKN3	ネットフィルター	φ 150
AT-150QKK3		AT-150QKN3		
AT-200QK3	φ 200	AT-150QKKN3		φ 200
AT-200QKK3		AT-200QKN3		
		AT-200QKKN3		

●形名末尾に「SN」の付く製品は風量調節機能はありません。

■適用パイプ

形 名	適用パイプ口径 (mm)	適用パイプ			
		硬質ポリ塩化ビニル管		スパイラルダクト	フレキシブルダクト
		VU	VP		
AT-100 タイプ	φ 100	○	○	○	○
AT-150 タイプ	φ 150	○	○	○	○
AT-200 タイプ	φ 200	○	×	○	○

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

	注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	●本体に荷重をかけない (落下によりけがをする原因)
	●据付けは確実に (落下によりけがをする原因)
指示に従い 必ず行う	●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する (着用しないとけがをする原因)
	●据付けやお手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う (運転状態での作業はけがの原因)

据付け前の準備

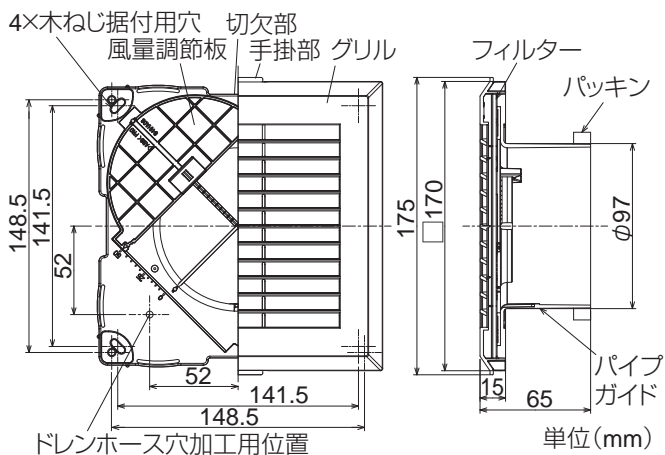
- 石こうボードに直接固定する場合は下記のものをご用意ください。
 - ・市販の石こうボード用アンカー……4本
(φ 3.5 木ねじ用)
- 天井面に据付けてダクト用換気扇のドレン処理をする場合は下記のものをご用意ください。
 - ・市販のビニールホース
(外径 18mm、内径 13mm)

据付け前のお願い

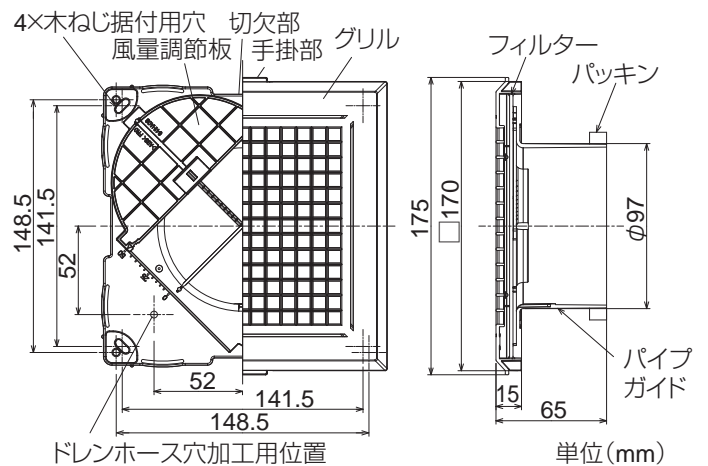
- 屋外環境に適したフードを選択してください。
雨水がかかる場合……深形フードをおすすめします
風雨が強く下から吹き上げがある場合……角形耐外風フードをおすすめします
外の騒音が大きい場合……防音形フードをおすすめします
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと据付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙があたりおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になるような場所では使用できません。
- 据付けの環境によっては結露することがあります。
- 浴室などの湿度の高い場所に据付けた場合グリルから結露水滴下することがあります。滴下の影響のない場所に据付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 接続するダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて 1/30 の下りこう配をつけてください。
- 設置したダクトに著しい変形（ツブレ等）や極端な曲げがある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 床面に据付ける場合、グリルに重いものをのせたり、足で踏む場所には据付けしないでください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。
- 浴室に据付ける場合は、付属の木ねじを市販のステンレス製木ねじに変更してください。（AT-100QK タイプは除く）

外形寸法図

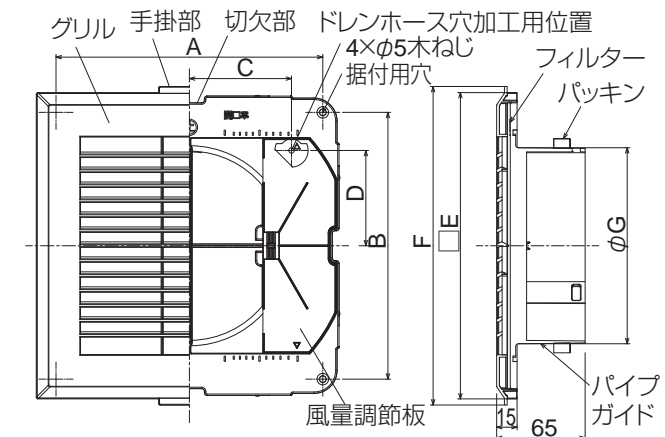
■AT-100QKタイプ



■AT-100QKKタイプ



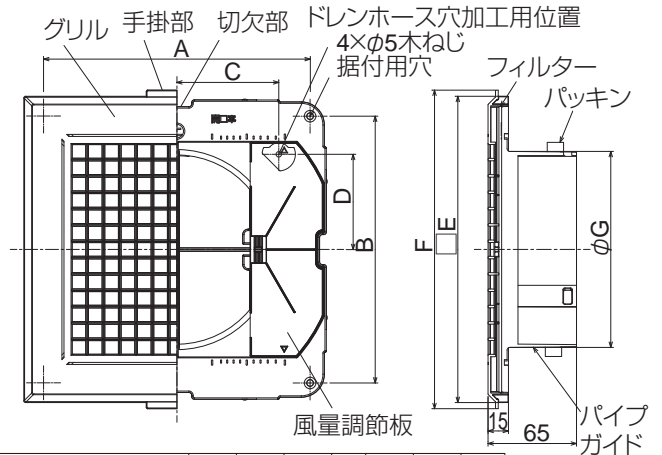
■AT-150・200QKタイプ



形 名	A	B	C	D	E	F	G
AT-150QKタイプ	196	196	75	70	225	234	144
AT-200QKタイプ	256	256	100	95	285	294	197

単位 (mm)

■AT-150・200QKKタイプ



形 名	A	B	C	D	E	F	G
AT-150QKKタイプ	196	196	75	70	225	234	144
AT-200QKKタイプ	256	256	100	95	285	294	197

単位(mm)

据付可能場所

天井・壁・床（踏みつけられない場所）

付属部品

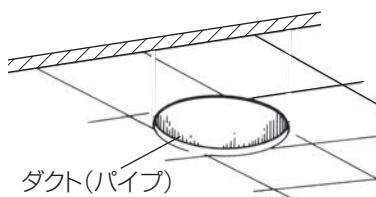
- 木ねじ（鉄製）…4本
（パイプガイド裏側に付属）
- ※ AT-100QK タイプのみステンレス製



据付方法

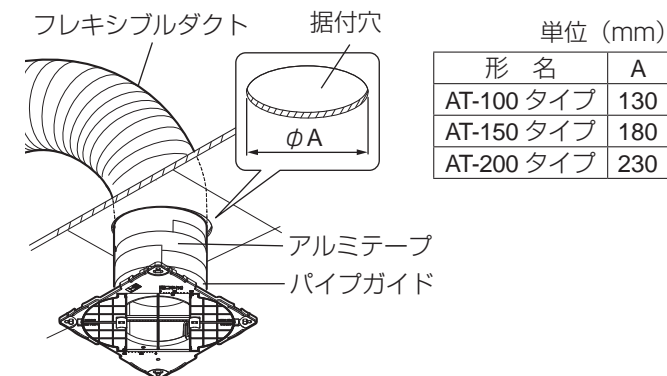
1. 据付け前の準備

スパイラルダクト・硬質ポリ塩化ビニル管の場合



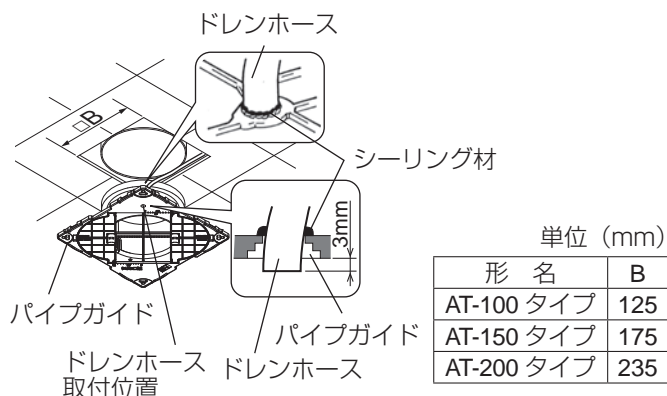
1. ダクトを給排気グリル据付位置まで配管する。
 2. 天井材の給排気グリル据付位置にダクト（パイプ）の内径に合わせた穴を開ける。
● ダクトは天井材から出ないようにしてください。
 3. グリルの手掛部を持ってパイプガイドからグリルをはずす。
 4. パイプガイド裏側に付属している木ねじを取りはずす。
- ※ 以上は天井据付の場合を示します。壁据付・床据付の場合も同様に行ってください。

アルミフレキシブルダクトの場合



1. 天井材の据付位置にφ A の穴を開ける。
2. パイプガイド裏側に付属している木ねじを取りはずす。
3. グリルの手掛部を持ってパイプガイドからグリルをはずす。
4. アルミフレキシブルダクトを据付穴から引き出してパイプガイドと接続し、風漏れがしないよう市販のアルミテープで接続部を2回以上巻付け固定する。

ドレン処理をする場合

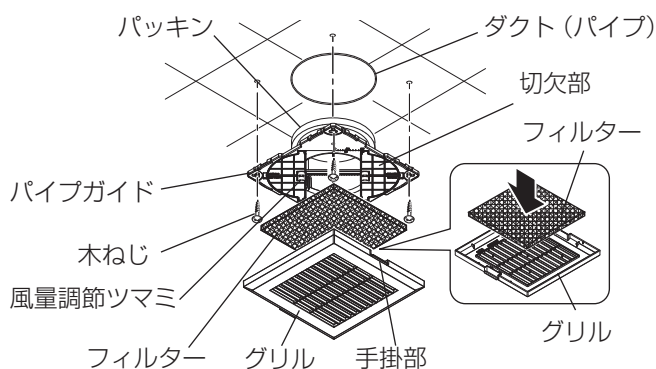


1. 天井材の据付位置に□ B となるよう角穴を開ける。
2. ドレンホース取付位置側の風量調節板を取りはずす。
● AT-100 タイプは取りはずし不要です。
3. ドリル等でドレンホース取付位置センター（凹部）にφ 19mmの穴をあける。
4. ドレンホース（外径φ 18mm、内径φ 13mmのビニルホース）を穴に通し、周りをシーリング材で処理する。

お願い

- ドレンホースの先端はパイプガイドから3mm以上出ないようにしてください。

2. 本体の据付け

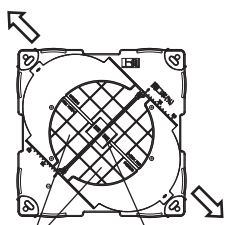


1. パイプガイドをダクトに差し込み、付属の木ねじ（4本）で天井材に締め付ける。
● 石こうボードに直接据付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。
● ねじ締め付け時は斜めにならないよう、真っ直ぐに締め付けてください。
● 接続ダクトの応力や、据付面の変形などによりパイプガイドが変形・破損に至ることがないように締め付けてください。
2. 必要に応じて風量調節ツマミにより開口面積を調節する。
● 形名末尾に「SN」の付く製品は風量調節機能はありません。
3. フィルター付の場合は図のようにグリルの内側に入れる。
4. グリルの手掛け部とパイプガイドの切欠部を合わせてはめ込む。
● お好みの風方向に合わせてはめ込む。（形名に「QKK」の付く製品は除く）

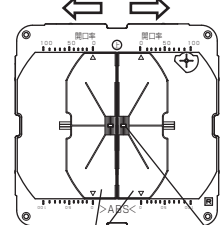
お願い

- グリルをパイプガイドへ確実にはめ込んでください。はめ込みが不十分な場合、グリルが落下するおそれがあります。

[AT-100タイプ]



[AT-150・200タイプ]



据付け後の確認

据付け後、下記の確認をお願いします。

- ・ グリルが正しく取付けられているか？
- ・ 据付面と製品の間に著しいすき間がないか？
- ・ ねじ類にゆるみなどがいないか？

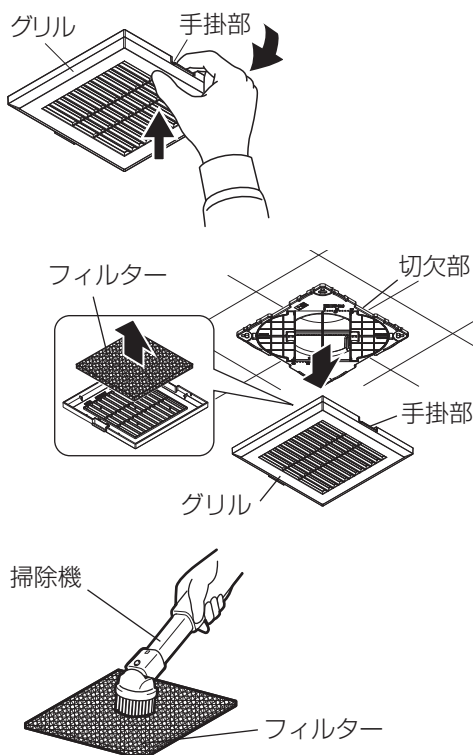
お手入れ

グリルやフィルターにほこりなどが付着すると換気扇の風量低下や異常音発生の原因になります。約2か月に1度を目安として清掃してください。

⚠ 注意



- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）
- お手入れの際は、必ず接続されている換気扇の運転を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）
- お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因）



1. グリルをはずす。
 - 手掛部に指先をあてて、下側に引っ張るとはずれます。
2. グリルからフィルターを取りはずす。
3. フィルターの清掃をする。
 - 軽く手でたたかまたは掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に台所用中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
 - ネットフィルターは定期的な清掃により繰り返しご使用いただけますが、著しいフィルターの目詰まりやフィルター繊維の破損、ほつれがひどい場合などは下記の交換用フィルターを購入し、交換してください。
 - 不織布フィルターは、水洗い5,6回を目安に下記の交換用フィルターを購入し、交換してください。
4. グリルを清掃する。
 - ぬるま湯（40℃以下）に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
5. フィルターをグリル内側へ入れる。
6. グリルの手掛部とパイプガイドの切欠部を合わせて元通りにはめ込む。

交換用フィルター	適用機種	フィルター仕様
AT-100QKF2-F	AT-100QKN3, AT-100QKN3SN AT-100QKN3-BE, AT-100QKKN3	ネットフィルター
AT-100QK3-F	AT-100QKF3SN	不織布フィルター
AT-150QKF2-F	AT-150QKN3, AT-150QKKN3	ネットフィルター
AT-200QKF2-F	AT-200QKN3, AT-200QKKN3	

お願い

- フィルター付タイプはフィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火にあてて乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。
- 清掃時に洗剤を使用される場合は、台所用中性洗剤をご使用いただき、洗剤に記載されている使用量の目安まで薄めてご使用ください。また、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（破損・変質・変色する原因になります）
- 交換用フィルター付グリルは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお買い求めいただけます。

交換用フィルターのご注文

■ オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社

駒場事業所

〒508-0011 岐阜県中津川市駒場526-2

フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893

FAX: 0120-66-9895

ホームページアドレス: <https://www.melat.co.jp/>